

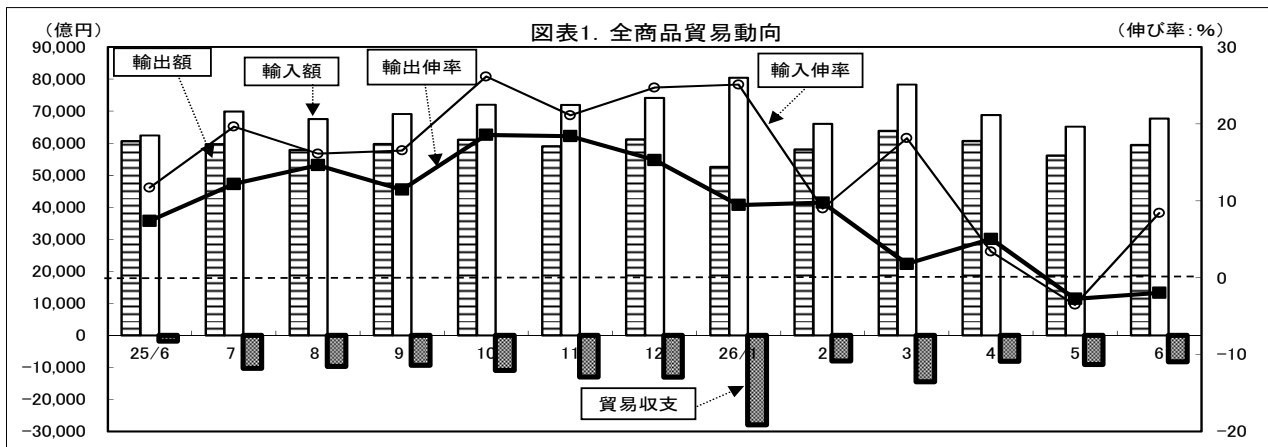
最近の機械貿易動向(6月)～機械輸出伸び率2ヶ月連続でマイナス～

日本機械輸出組合 2014.8.27.

平成26年6月の機械輸出額は3兆8,244億円、対前年同月比1.4%減と2ヶ月連続のマイナスとなった。これは、為替・営業日要因が6.7%の増加要因だったにもかかわらず、①北米、その他地域、ASEAN・南アジア、韓国・台湾向けが軒並みマイナスとなったこと、②機械輸出額の約35%を占める自動車や、産業機械が大きくマイナスになったことなどによる。為替・営業日要因が6.7%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は7.6%減と3ヶ月ぶりにマイナスとなった。7月も為替要因は低いままで継続し、2.0%の増加要因となる。仮に6月の機械輸出額の実質的伸び(7.6%減)が続くとすれば、前年比5.8%減と予想されたが、8月20日発表の貿易統計速報による簡易計算では7月の機械輸出は3.9%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は2ヶ月連続マイナス、輸入は再びプラス成長～

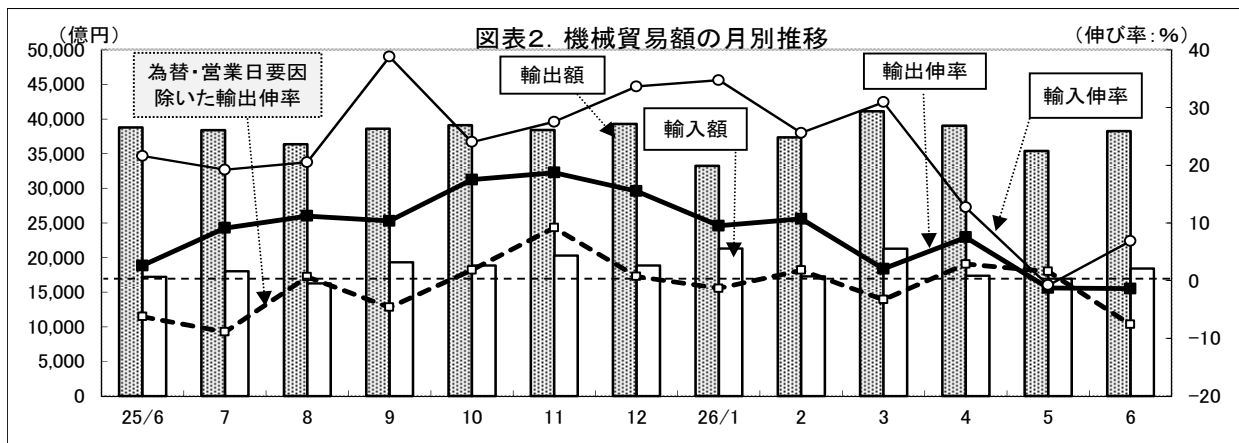
- 平成26年6月の全商品輸出額は**5兆9,405億円**、前年同月比(以下同じ)**1.9%減**と2ヶ月連続のマイナスとなった(5月2.7%減)。これは、営業日が1日多かったものの、円安要因が大幅に縮小したこと、全輸出額の17%を占める電気機器(5.1%減)、10%の化学製品(4.4%減)が大幅に減少したためである。
- 輸入額は**6兆7,637億円**、**8.4%増**と2ヶ月ぶりのプラス成長となった(5月3.5%減)。これは、円安要因が大幅に縮小したものの、営業日が1日多かったこと、全輸入額の約31%を占める原油等鉱物性燃料(8.3%増)をはじめ、9%の一般機械(14.2%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(14.0%増)、8%の医薬品、有機化合物等化学製品(10.9%増)の伸び率が大きくプラスになったことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は8,232億円の赤字となり、6月としては、1979年以来、最大の赤字となった(昨年6月は1,805億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は2ヶ月連続マイナス、輸入は2ヶ月ぶりのプラス成長～

- 全商品輸出額の約64%を占める6月の機械輸出額は**3兆8,244億円**、**1.4%減**と2ヶ月連続のマイナス成長となり(5月1.3%減)、輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年5月)と比べると**79.9%**となり、前月に比べて1.4ポイント改善した(5月78.5%)。
- 一方、全商品輸入額の27%を占める機械輸入額は、**1兆8,397億円**、**6.8%増**と再びプラスとなった(5月0.8%減)。また、輸入額は、15ヶ月連続してリーマンショック前の水準を上回っている。

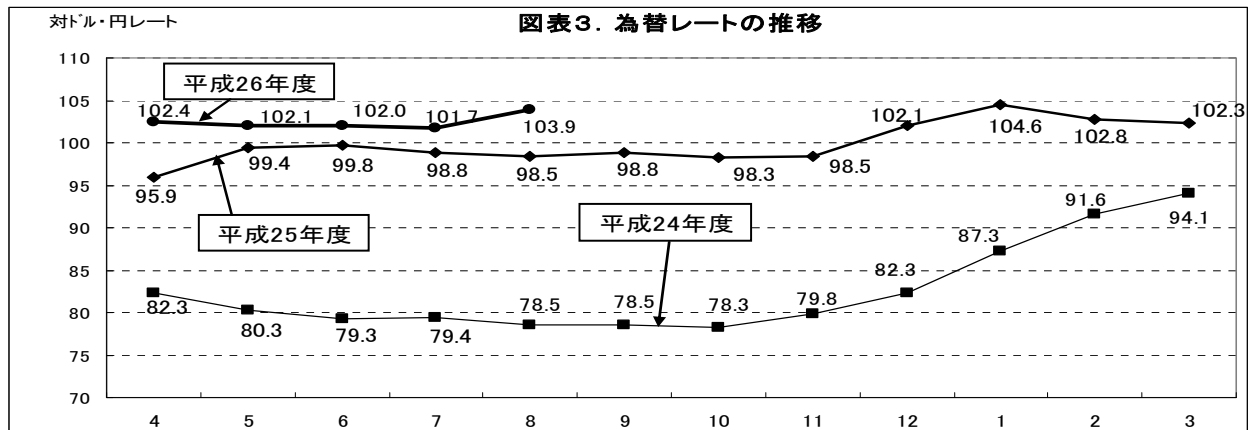


(2) 為替動向・営業日～6月は6.7%の増加要因、7月は2.0%の増加要因～

1) 6月は1ドル＝102.0円と円高是正が弱まり、前年に比べ2.2%の円安となった。また、対ユーロも138.9円と前年に対して6.5%の円安となり、合わせて約1.6%の為替増加要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.0%の増加要因となり、合わせて6.7%の増加要因となった。6月の輸出額は1.4%減であったことから、実質的伸び率は7.6%減と3ヶ月ぶりのマイナスとなった(5月1.6%増)。

2) 7月は1ドル＝101.7円と前年に比べ2.9%の円安、対ユーロでは138.4円で前年に対し7.0%の円安となり、合わせて約2.0%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で2.0%の増加要因となる。

3) 8月は、対ドルが8月27日17:00時点の103.9円とすれば、前年に比べて5.5%の円安、また、対ユーロも137.0円と5.1%の円安となり、合わせると約3.2%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日少ないため、4.6%の減少要因となり、合計で1.5%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～EU、中国向けは増加、その他地域、北米、ASEAN・南アジア、韓国・台湾向けは減～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、プラスとなったのは、①機械輸出額の11.2%を占めるEU向けで、全体の約31%を占める自動車(25.2%増)をはじめ、産業機械(14.8%増)、軽機械(9.4%増)、建設機械(46.1%増)等が大幅にプラスとなり、8.3%増と11ヶ月連続でプラスとなった。②21.2%を占める中国向けは、自動車(15.2%増)、重電気機械(10.0%増)、工作機械(2.3倍)等が大きく伸びた一方、産業機械(16.7%減)が大きくマイナスとなり、0.6%増となった。

2) 他方、マイナスとなったのは、①機械輸出額の9.1%を占める韓国・台湾向けで、産業機械(36.1%減)、電子デバイス(26.0%減)が大幅にマイナスとなって6.2%減となり、②15.5%を占めるASEAN・南アジア向けでは、ベトナム(16.2%増)、フィリピン(13.5%増)、パキスタン(11.0%増)が二桁増となったものの、タイ(20.7%減)、インド(13.3%減)、インドネシア(8.8%減)等が大幅マイナスとなり、業種では、全体の25%を占める自動車(12.3%減)、重電気機械(9.9%減)、軽電気機械(7.5%減)等が大幅に減少して4.3%減となった。

③24.3%と最大輸出先である北米向けでは、全体の約50%を占める自動車(6.0%減)をはじめ、重電気機械(6.5%減)、建設機械(16.0%減)等が大幅に減少して3.6%減と2ヶ月連続してマイナスとなり、④18.8%を占めるその他地域向けでは、中近東(12.3%増)向けが二桁増となったものの、大洋州(18.6%減)、アフリカ(12.8%減)、ロシア東欧等(8.3%減)向けが大幅減となり、機種では全体の約58%を占める自動車(2.7%減)をはじめ、船舶(3.2%減)、建設機械(12.7%減)がマイナスとなって0.9%減となった。

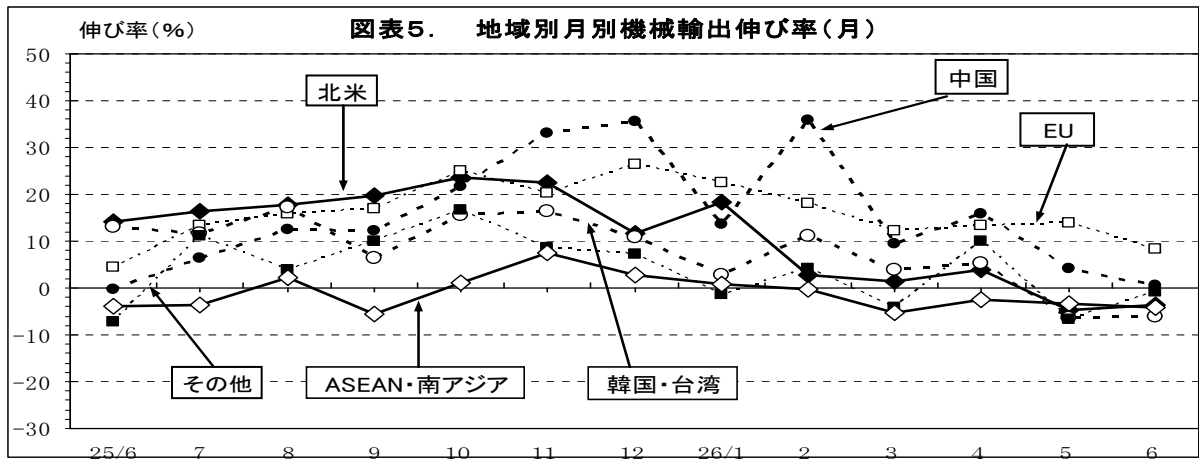
3) また、リーマンショック前の平成20年6月の地域別輸出額と比較すると、90%台のASEAN・南アジア、中国向け、80%台の北米向け、70%台の韓国・台湾向け、60%台のその他地域向け、50%台のEU向けと全ての地域向けで水準を下回った。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2014/4			2014/5			2014/6			対08年 6月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,025	7.5	100.0	35,373	▲ 1.3	100.0	38,244	▲ 1.4	100.0	0.799
北米	9,504	3.8	24.4	8,337	▲ 4.8	23.6	9,288	▲ 3.6	24.3	0.86
中国	8,277	15.8	21.2	7,896	▲ 4.1	22.3	8,110	0.6	21.2	0.93
ASEAN・南アジア	5,812	▲ 2.5	14.9	5,309	▲ 3.4	15.0	5,923	▲ 4.3	15.5	0.98
EU	4,461	13.3	11.4	4,163	13.9	11.8	4,274	8.3	11.2	0.58
韓国・台湾	3,636	5.3	9.3	3,339	▲ 6.4	9.4	3,463	▲ 6.2	9.1	0.78
その他	7,335	10.1	18.8	6,329	▲ 6.8	17.9	7,186	▲ 0.9	18.8	0.69

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円)

国名	2014/3		2014/4		2014/5		2014/6	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,039	▲ 0.9	1,819	▲ 4.0	1,726	▲ 4.0	1,712	▲ 4.9
台湾	1,933	9.7	1,817	16.5	1,613	▲ 8.8	1,752	▲ 7.5
ASEAN・南アジア								
タイ	1,721	▲ 15.3	1,607	▲ 13.2	1,516	▲ 13.0	1,610	▲ 20.7
シンガポール	969	2.4	878	▲ 7.0	754	▲ 6.5	977	6.5
インドネシア	855	▲ 16.3	913	▲ 0.6	719	▲ 13.0	871	▲ 8.8
マレーシア	801	4.8	730	7.8	675	7.3	737	5.2
フィリピン	531	1.8	606	13.4	514	3.0	588	13.5
ベトナム	484	18.3	436	20.5	459	14.5	447	16.2
インド	433	▲ 10.7	311	▲ 25.4	336	3.2	347	▲ 13.3
パキスタン	84	▲ 0.2	110	27.5	118	31.2	108	11.0
その他地域								
中南米	2,660	▲ 11.7	2,277	12.9	2,079	▲ 22.7	2,419	2.0
中近東	2,093	19.7	2,010	30.0	1,645	▲ 14.2	1,789	12.3
大洋州	1,300	▲ 6.3	1,114	▲ 6.2	912	▲ 11.3	1,081	▲ 18.6
ロシア東欧等	1,457	▲ 0.2	1,229	▲ 10.6	1,056	▲ 5.6	1,165	▲ 8.3
アフリカ	721	▲ 22.3	653	10.6	595	7.2	608	▲ 12.8

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中12業種マイナス、自動車、産業機械等が2ヶ月以上連続のマイナス～

- 業種別では、全21業種中12業種がマイナスとなり、前月より5業種増加した。全体の約35%を占める自動車(0.8%減)、約17%の産業機械(3.0%減)、電子デバイス(8.7%減)、民生用電子機械(13.0%減)、船舶(10.8%減)等が2ヶ月以上連続してマイナスとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機、工作機械、軽機械、ベアリング、光学機械、医療機械、農業機械の7業種で、他方、鉄道車両、民生用電子機械、電子計算機が40%台、産業車両、通信機械が50%台の低い水準にある。

図表7 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2014/4			シエア	2014/5			シエア	2014/6			対08/6比
	金額	伸び率	シエア		機種名	金額	伸び率		シエア	機種名	金額	
自動車	13,784	3.9	35.3	自動車	11,445	▲ 5.5	32.4	自動車	13,365	▲ 0.8	34.9	0.80
産業機械	6,672	9.4	17.1	産業機械	6,351	▲ 0.2	18.0	産業機械	6,341	▲ 3.0	16.6	0.85
電子デバイス	2,929	1.2	7.5	電子デバイス	2,829	▲ 5.2	8.0	電子デバイス	2,872	▲ 8.7	7.5	0.73
軽電気機械	2,063	7.8	5.3	重電気機械	1,913	2.4	5.4	軽電気機械	1,935	▲ 2.2	5.1	0.80
重電気機械	2,020	9.2	5.2	軽電気機械	1,884	3.9	5.3	重電気機械	1,885	▲ 2.7	4.9	0.87
軽機械	1,574	14.2	4.0	軽機械	1,452	5.6	4.0	軽機械	1,502	▲ 0.3	3.9	1.11
民生用電子機械	1,462	▲ 2.8	3.7	民生用電子機械	1,418	▲ 6.0	3.9	民生用電子機械	1,415	▲ 13.0	3.7	0.44
光学機械	1,410	17.3	3.6	光学機械	1,371	2.1	4.1	光学機械	1,399	3.8	3.7	1.10
船舶	1,255	9.6	3.2	船舶	1,132	▲ 31.6	3.2	船舶	1,390	▲ 10.8	3.6	0.74
建設機械	1,096	19.7	2.8	建設機械	875	▲ 0.0	2.5	建設機械	1,020	▲ 3.9	2.7	0.66
工作機械	770	26.3	2.0	工作機械	841	33.7	2.4	工作機械	994	44.8	2.6	1.15
航空機	686	17.4	1.8	航空機	660	23.6	1.9	航空機	704	18.1	1.8	1.50
通信機械	547	27.4	1.4	通信機械	512	25.4	1.4	通信機械	488	5.0	1.3	0.57
ベアリング	422	16.4	1.1	電子計算機	404	8.8	1.1	電子計算機	460	▲ 5.9	1.2	0.48
電子計算機	419	5.9	1.1	ベアリング	382	6.4	1.1	医療機械	409	5.3	1.1	1.04
陸用内燃機関	366	▲ 0.4	0.9	医療機械	379	21.7	1.1	ベアリング	399	0.6	1.0	1.11
医療機械	359	16.3	0.9	陸用内燃機関	341	5.3	1.0	陸用内燃機関	358	3.2	0.9	0.91
繊維機械	218	6.3	0.6	繊維機械	218	9.5	0.6	繊維機械	209	▲ 1.2	0.5	0.87
農業機械	178	18.8	0.5	農業機械	181	40.9	0.5	農業機械	208	22.2	0.5	1.04
産業車両	142	13.9	0.4	産業車両	125	13.2	0.4	産業車両	134	3.1	0.4	0.54
鉄道車両	45	▲ 43.5	0.1	鉄道車両	47	▲ 3.0	0.1	鉄道車両	40	▲ 50.9	0.1	0.41
21業種合計	38,418		98.4	21業種合計	34,761		98.3	21業種合計	37,528		98.1	0.80

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。
軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カメラ。

(5)機種別動向～工作機械、TV、通信機械部分品等大幅増、携帯電話、デジカメ・ビデオ等大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種は、①中国、北米、ASEAN・南アジア向け**工作機械**(44.8%増)、②北米、EU向け**TV**(33.0%増)、③中国向け**通信機械部分品**(28.4%増)、④北米、EU向け**農業機械**(22.2%増)、⑤ASEAN・南アジア向け**原動力機械**(18.6%増)、⑥北米、EU向け**航空機**(18.1%増)、⑦その他地域、中国向け**受信変換その他送受信**(13.0%増)、⑧EU、中国、北米向け**理化学用機器**(12.9%増)、⑨中国、北米向け**電池**(11.2%増)であった。

2)一方、最も落込み幅が大きいのが、鉄道車輛(46.6%減)、デジカメ・ビデオ(29.4%減)、半導体製造装置(13.9%減)、電気・電子計測器(12.8%減)等であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円)

2014/4			2014/5			2014/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	216	63.3	通信機械部分品	216	50.1	工作機械	994	44.8
受信変換・その他送受信	163	41.6	農業機械	181	40.9	TV	113	33.0
半導体製造装置	1,169	35.9	工作機械	841	33.7	通信機械部分品	179	28.4
理化学用機器	428	31.6	発電機	107	30.2	農業機械	208	22.2
工作機械	770	26.3	航空機	660	23.6	原動力機械	438	18.6
その他の光学機器	1,188	22.1	医療機械	379	21.7	航空機	704	18.1
その他の重電気機器・部分品	555	21.5	理化学用機器	381	18.9	受信変換・その他送受信	150	13.0
建設機械	1,096	19.7	原動力機械	429	17.6	理化学用機器	412	12.9
農業機械	178	18.8	産業車両	125	15.2	電池	231	11.2
航空機	686	17.4	電動機	136	11.7	機種合計	3,429	9.0%
機種合計	6,449	16.5%	機種合計	3,455	9.8%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品: ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等
 理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター

図表9. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円)

2014/4			2014/5			2014/6		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車輛	45	▲ 43.5	船舶	1,132	▲ 31.6	鉄道車輛	40	▲ 50.9
原動力機械	375	▲ 25.7	写真機の部分・附属品	145	▲ 17.5	デジカメ・ビデオ	361	▲ 29.4
発電機	93	▲ 10.2	デジカメ・ビデオ	389	▲ 15.2	半導体製造装置	991	▲ 13.9
機種合計	513	1.3%	機種合計	1,666	4.7%	電気・電子計測器	415	▲ 12.8
						写真機の部分・附属品	143	▲ 12.7
						金属加工機械	286	▲ 11.2
						船舶	1,390	▲ 10.8
						機種合計	3,626	9.5%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内・機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～2ヶ月ぶり伸び率増加。電子デバイス、電子計算機、自動車部品が大幅増～

1)6月の機械輸入伸び率は6.8%増と2ヶ月ぶりのプラスとなった。これは、円安要因が大幅に縮小したものの、営業日が1日多いことに加え、主要機械輸入機種である電子デバイス(5.0%増)や電子計算機(4.5%増)が増加したこと、自動車部品(31.7%増)や受信変換・その他送受信(29.4%増)、配電機器(14.4%増)、コンデンサー等部分品(21.3%増)、半導体製造装置(3.2倍)等が大幅にプラスとなったことによる。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、白物家電、航空機、医療機械、受信変換・その他送受信、配電機器、TV、通信機械部分品となっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の42%を占める中国(13.5%増)、ASEAN・南アジア(13.3%増)、EU(7.1%増)、北米(6.1%減)、韓国・台湾(5.5%減)、その他地域(6.1%増)の順であった。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2014/4				2014/5				2014/6			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,282	31.1	13.1	電子デバイス	2,168	7.8	12.8	電子デバイス	2,300	5.0	12.5
電子計算機	2,044	15.4	11.7	電子計算機	1,828	4.9	10.8	電子計算機	1,874	4.5	10.2
携帯電話	1,013	11.7	5.8	自動車部品	991	10.3	5.8	携帯電話	1,027	▲ 18.6	5.6
自動車部品	922	21.1	5.3	白物家電	838	▲ 4.5	4.9	自動車部品	1,022	31.7	5.6
白物家電	781	9.0	4.5	航空機	738	▲ 17.9	4.4	白物家電	906	4.5	4.9
乗用車	732	2.4	4.2	乗用車	699	▲ 9.7	4.1	航空機	884	▲ 23.7	4.8
航空機	723	18.6	4.2	携帯電話	555	▲ 59.1	3.3	乗用車	699	▲ 12.0	3.8
配電機器	495	10.5	2.8	医療機械	497	▲ 0.2	2.9	医療機械	577	6.5	3.1
医療機械	491	▲ 2.5	2.8	配電機器	478	0.8	2.8	受信変換・その他送受信	531	29.4	2.9
受信変換・その他送受信	472	▲ 4.9	2.7	受信変換・その他送受信	456	▲ 7.1	2.7	配電機器	528	14.4	2.9
コンデンサー等部分品	328	3.4	1.9	その他の配電制御装置	343	14.8	2.0	コンデンサー等部分品	381	21.3	2.1
その他の配電制御装置	323	24.2	1.9	コンデンサー等部分品	339	▲ 1.4	2.0	半導体製造装置	357	219.9	1.9
12機種合計	10,606		61.0	12機種合計	9,930		58.6	12機種合計	11,086		60.3

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械